

～～第8830回～～

笠張山（清掃登山）

～R2. 1. 11～

地元、笠張山への本年初山行の予定が、道半ばで撤退する。藤枝市自主運行バス（ゆらく線）本郷原バス停で下車し、藤の瀬会館に集まる。瀬戸谷街道を大出橋の手前で左に折れ、田んぼ沿いを北へ入る。小田野沢ビオトープを通過し、城山方面への分岐を左に上る。車道だがかなりの急傾斜だ。急坂が終わりT字路を右に進む。城山への道は地図にないものの三角点があり、名前からして城跡でもありそうなので寄り道する。上方に見える山へ向かい茶畑の端から取りつき、林の中を登る。頂上と見えたのは支尾根だった。城山はさらに下って登り返した先にあり、しかも、かなりの急斜面だ。鞍部まで下って茶畑側へのエスケープルートを探すも、荒れた茶園が立ち塞がる。仕方なく急斜面をよじ登り、三角点(380m)に辿り着くが、城跡もない。反対側の下り斜面はさらに急で、ずり落ちそうになる。右側はほぼ崖で慎重に下り、やっとのことで元の道へ出る。ここで、かなりの時間と体力を消耗する。一息入れて出発。滝ノ谷分岐で既に 12:00。見晴らしのよい空き地で昼食にする。左に下って滝ノ谷から笠張山へ登るつもりだったが、尾根道の途中から下山することに変更。二度目の中里分岐を右へ下る。草に覆われ、落石・倒木に塞がれた農道だ。荒れた茶園の中から「ガサガサ」と大きな音が下へ移動していく。どうやらイノシシが逃げていったようだ。ここでも地図と現況のズレに悩む。行きつ戻りつ、まともな道に出て一安心。ひたすら舗装路を下り、瀬戸川玉田橋を渡る。後は「ゆらく」まで平地を歩く。道迷いは終わってみれば楽しい思い出だが、一歩間違えば事故に繋がる。反省しきりだ。スマホ(GPS)が道迷いの要所で頼りになることを知る。また、マイナーな道のためかゴミが多かった。余談になるが、「ゆらく」で静岡学園の県勢12年ぶりとなる全国高校サッカー決勝進出を決めたゴールの瞬間を見る。

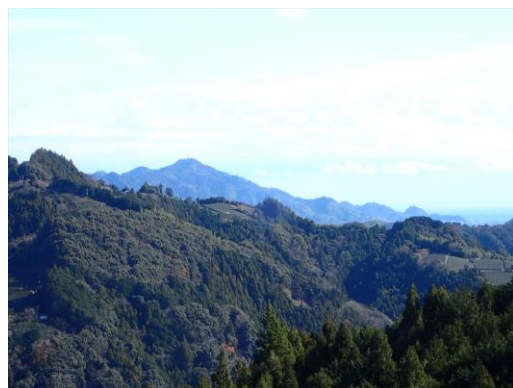
参加者：10名（静岡北1、焼津1、藤枝8）

天気：曇りのち晴れ

地図：伊久美

コースタイム：藤枝駅前 832＝本郷原バス停 900…藤の瀬会館 910-20…小田野沢ビオトープ 944…城山 1110-17…滝ノ谷分岐 1200-1230…中里分岐 1310…玉田橋 1440…瀬戸谷温泉ゆらく 1450-1735＝藤枝駅 1800

記録：藤枝支部 ゆ記



滝ノ谷分岐から高草山を望む